

第1節 学習指導事例の活用にあたって

1 取り上げた事例について

学校における環境教育は、一部の教科のみで行われるのではなく、各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間相互の関連を図り、学校の教育活動全体を通して総合的に行われるべきものである。

そこで、学習指導事例については、一部の教科等に偏ることなく、すべての教科等にわたって取り上げることとした。その際、学年や取り上げる内容についても、バランスを考慮した。

また、地域や学校、児童の実態等を踏まえた環境教育をより一層充実させる観点から、

- ・児童会を中心に、縦割り集団活動により学校全体として環境保全に取り組んだ事例
  - ・地域との連携を深め、地域の人々や教育資源を積極的に活用した事例
  - ・ビオトープの作成やその活用を図った事例
  - ・地域の森林等の自然環境を生かした事例
- についても取り上げている。

学習指導事例の作成にあたっては、第1章及び第2章で述べた学校における環境教育の基本的な考え方を踏まえ、その実現を図るようにした。また、第2章第3節及び第4節に示した各教科等における環境教育の視点が授業に十分反映されることを意図として、事例の冒頭に「環境教育の視点とのかかわり」を示すこととした。

2 活用にあたっての配慮事項

本学習指導事例は、各学校が、環境教育について理解を深め、環境教育に係る学習指導の改善と充実に資するように作成したものである。

各学校においては、次に示す配慮事項も併せて参考とし、環境教育の一層の充実を図っていただきたい。

- (1) 地域や学校、児童の実態等を踏まえた学習指導を展開する。

児童が身近な環境に関心をもち、そこから課題を見いだせるようにすることが大切である。このような学習を積み重ねることによって、身近な環境問題が、究極的には地球規模の問題につながっていることに気付くようにする。

その際、家庭や地域社会、あるいは環境保全等に係る関係機関等との連携を一層深めるようにすることも大切である。

- (2) 自然体験や社会体験などの体験的な活動、問題解決的な活動を重視する。

地域の自然や社会の中での体験活動を通して、環境に対する感受性を豊かにすることが大切である。特に、自然と一体となった活動を通じて、自然の素晴らしさや美しさを感じ取り、自然への畏敬の念を醸成することは、生涯にわたって環境保全に努めようとする態度の素地を育成する上で極めて重要なことである。

また、児童が、環境問題に積極的にかかわり、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決できるように指導内容や指導方法の工夫を図ることが必要である。

- (3) 環境教育副読本「みんなで学ぼう！わたしたちの地球」を併せて活用する。

児童が環境問題に関する調べ学習を進める際などに、平成17年3月に環境防災部環境推進課（現 環境部温暖化対策課）が刊行した小学生用環境副読本「みんなで学ぼう！わたしたちの地球」の活用を図るようにする。

本学習指導事例と副読本の内容との関連は、下表に示したとおりである。

なお、環境に関するデータは、日々移り変わっており、環境省ホームページ等から最新の値を得ることも必要である。

「学習指導事例に取り上げた単元等と環境教育副読本との関連一覧」

教科等	学年	単元（題材、主題、議題）名	環境教育副読本「わたしたちの地球」との関連					
			自然	食べ物	空気	水	ごみ	エネルギー
国語	第4学年	段落のつながりに気を付けて読もう	○					
社会	第5学年	わたしたちの国土と環境	○		○	○		
算数	第3学年	ぼうグラフと表					○	
理科	第4学年	寒くなると	○		○			
生活	第1学年	あきとあそぼう	○					
音楽	第3学年	みんなで合わせて						
図画工作	第2学年	ちきゅうからの おくりもの	○				○	
家庭	第6学年	近隣の人々との生活を考えよう					○	
体育	第3学年	毎日の生活と健康			○			
道徳	第5学年	自然を守る	○					
特別活動	第6学年	エコキャンペーンを開催しよう					○	○
総合的な学習の時間	第5学年	田んぼからのおくりもの		○		○		